

# ロシア・ウクライナ戦争と今後の世界

神戸学院大学経済学部教授

おかべよしひこ  
岡部芳彦

- \* 過去40回、ウクライナを訪問
- \* ウクライナは日本の隣の隣の国
- \* ゼレンスキー大統領は機会主義者
- \* ウクライナ誕生の経緯について
- \* プーチンが主張する妄想の歴史観
- \* 戦争直前の論文でプーチンが言ったこと
- \* ネオナチ排除というロシアの理屈
- \* モスクワから遠方の少数民族を投入
- \* ロシアから分離独立を求める動き
- \* 戦後のロシアでは社会崩壊の可能性も



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日の講師をご紹介します。

本日は、神戸学院大学経済学部教授の岡部芳彦先生に来ていただきました。先生は教授だけをやっているわけではなくて、神戸学院大学の国際交流センターの所長をなさっています。それから、神戸学院大学にウクライナ研究センターというのがあります。そのセンター長も兼ねていらつしやいます。また、ウクライナの研究会というのがあります。これは世界組織の国際ウクライナ学会の日本支部も兼ねておりますけれども、その会長もなさっています。

それから、最近、在神戸のウクライナ名誉領事館の名誉領事にもなられて、ウクライナ関連では非常にたくさんのお仕事をいっぺんにやって

いらつしやる方です。

ウクライナと長年のご交流があつて、いわゆる要人としてはゼレンスキー大統領とも何度もお会いになつていますし、それから一般の方々との交流もありますので、ウクライナの人の気持ちとかこだわりということも十分に存じだと思ひますので、そういう観点から今日はお話を伺えるのではないかと思つております。それでは先生、ひとつよろしくお願いいたします。（拍手）

## 過去40回、ウクライナを訪問

岡部 お話を始める前に、少しこの写真を見ていただきたいと思ひます。これは、アゾフ海に浮かぶ月があまりにもきれいだったので私が